

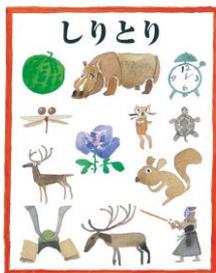


先生のおすすめ絵本



しりとり

〈作・絵〉安野 光雅 〈出版社〉福音館書店



『はじめのページのなかから、すきなえをひとつえらんでください。そのえとしりとりできるえをつぎのページからさがしてください。さいごのページにつながったら「ん」でおしまいです。ではしりとりをやってみましょう』

こんな文章からスタートする絵本です。少しずつひらがななど文字に興味を持ち始める年齢になり、最初にクラスで読んでみると「またしりとりの絵本みたい！」「今度は違う絵から始めようよ！」と大人気。以降自分たちでも絵本を手に取り、子どもだけで顔を寄せ合って絵本のしりとりを楽しんでいる様子が見られます。それぞれのページに様々なイラストが描かれており、また最後「ん」でつながらなかった場合は最初のページにつながる仕掛けになっているため、しりとりが何パターンもそして何度も楽しめる一冊になっています。
〈もも組 K先生〉

チーターじまんのてんてんは

〈作〉みやけ ゆま 〈出版社〉BL出版



いつもより何だか寒い日のこと。ぴゅーっと吹いた冷たい風に、思わず体をブルブルと震わせたチーターは、鼻をひくひく。「ハークション！」と大きなくしゃみをすると、チーター自慢のてんてん模様も体から飛び出してしまったのです。どこへ行ったかという、まずシマウマ。白黒のシマ模様なのに、さらに黒いてんてんが付いたら、訳がわかりませんよね。これってシマウマ、いや、てんてんシマウマ……？

ところが黒いてんてんはまたもやくしゃみに飛ばされて、こんどはもっと大きな体の動物に！あっちに行ったり、こっちに行ったりと広い空と大地で、ひらひらと舞うてんてん。チーターのてんてんは一体どうなるのでしょうか！？

てんてん模様がついたゾウやシマウマの姿に子どもたちは大笑い！最後は「え～！」と思うような展開に大人も子どももびっくりしてしまう何だか面白いお話でした。機会があったらぜひ読んでみてください。
〈すみれ組 F先生〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。



読み聞かせノートより



声にだすことばえほん おっと合点承知之助

〈文〉齋藤孝
〈絵〉つちだのぶこ
〈出版社〉ほるぷ出版



「付けたし言葉」を使った言葉遊びが楽しい絵本です。読んだことがあると教えてくれた子もいました。今ではあまり聞かれなくなった「付けたし言葉」にぼかんとした子供達でしたが、「しーらんべったんゴリラ」は盛り上がり、あちらこちらで「しーらんべったんゴリラ」とつぶやく声が聞こえて面白かったです。
〈ふじ組 Wさん〉

えんそくバス

〈文〉中川ひろたか
〈絵〉村上康成
〈出版社〉童心社



遠足を楽しみにしていた園長先生が寝坊をして行けなくなってしまい、すっかり遅れてしまいました…。お弁当も忘れてしまい…。バスが右に行ったり左に行ったり、の場面などを楽しく聞いてくれました。

〈すみれ組 Nさん〉



編集後記

ブレーメン役員となり毎週のように絵本の部屋に通うようになりました。子供が好きなシリーズの絵本、小学生の娘が毎日音読する物語、子供の頃自分が好きだった絵本、たくさんの絵本が部屋中に並んでいて、読み始めるとあっという間に時間が過ぎていきます。みなさんもお子さんと一緒に絵本の部屋へ立ち寄り、絵本時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。
〈もも組 I〉